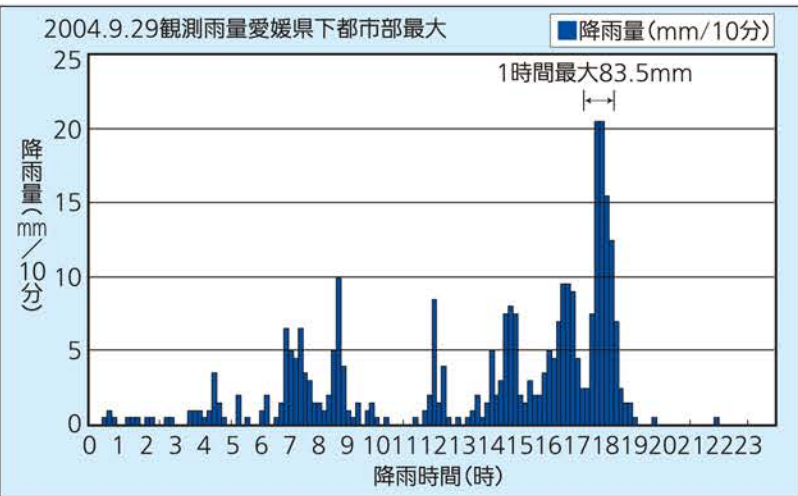


内水ハザードマップの見方

1 作成基準とした降雨データ



「内水ハザードマップ」は、平成16(2004)年9月29日に降った愛媛県下都市部最大の総降雨量299mm、1時間最大83.5mmの大雨を基に、平成26年から28年に解析し作成しています(雨の降り方はP3をご確認ください)。

河川の増水状況や雨の降り方、土地利用の形態変化などにより、浸水範囲や深さが変わる可能性がありますのでご注意ください。



2 マップの内容

内水ハザードマップの見方



対象区域界
作成の範囲を示す境界線です

色で浸水の深さを示しています

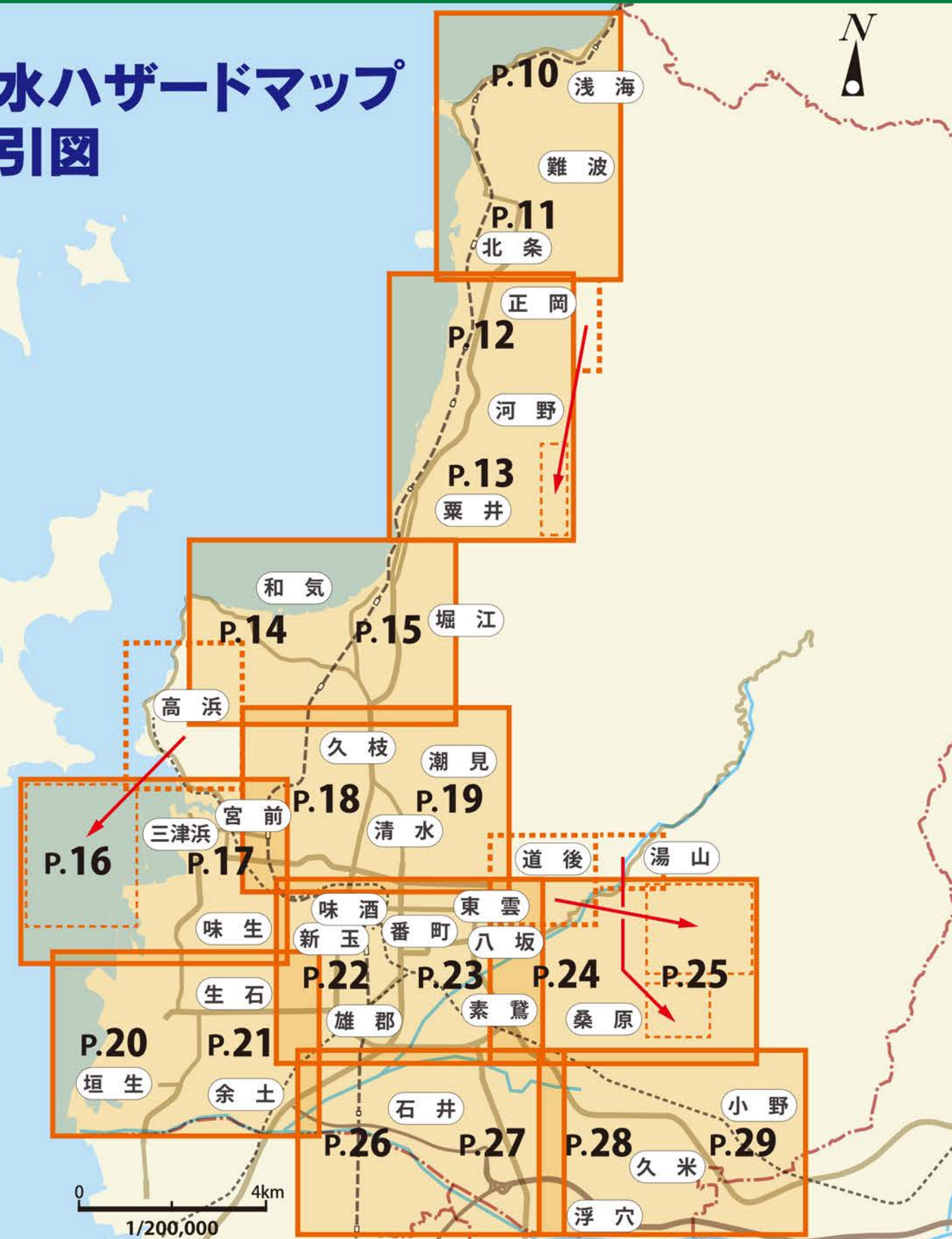
●は指定避難所 ※ 地下街 地下駐車場(公営)

~50cm
大人の避難可能水深
※流れが速いところでは水深20cm程度でも歩行できない場合があります。

色	想定される浸水の深さ
紫	0.50m以上
赤	0.30m以上0.50m未満
黄	0.20m以上0.30m未満
緑	0.10m以上0.20m未満
青	0.01m以上0.10m未満
白	0.01m未満

※内水氾濫発生時は屋外を移動するとかえって危険です。自宅の2階や近くの丈夫な建物の2階以上に「垂直避難」しましょう。ただし地震や津波、高潮、土砂災害、外水氾濫(洪水害)が発生し、避難が必要な場合は、災害時に開設されている指定避難所に避難してください。

内水ハザードマップ索引図



内水ハザードマップは、市街化が進み、内水氾濫の発生するおそれがある地域を中心に作成しています。その他の地域にお住まいの方も、会社や学校、通勤・通学路などにある危険箇所を知っていただき、日ごろからの備えにご活用ください。

内水氾濫以外の災害については「まつやま防災マップ」をご覧ください。

「まつやま内水ハザードマップ」は以下の通り国土地理院の承認を得て地理院発行のデータより編集、作成しております。いかなる形式においても松山市の承諾なしに複製、転載することはできませんのでご了承ください。なお、地理院データ作成時よりの経年変化で現状との差異が発生している場合もあります。「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第764号)」